

Ⅲ 耕地の利用状況

1 夏期における田本地の利用状況

(1) 平成19年夏期（おおよそ水稲の栽培期間）における田本地の利用状況をみると、水稲作付田は167万8,000ha（青刈り面積を含む。）で、前年に比べて1万3,000ha（1%）減少した。水稲以外の作物のみの作付田は42万8,600haで、前年並みとなった。また、夏期全期不作付地は27万9,800haで、前年並みとなった。

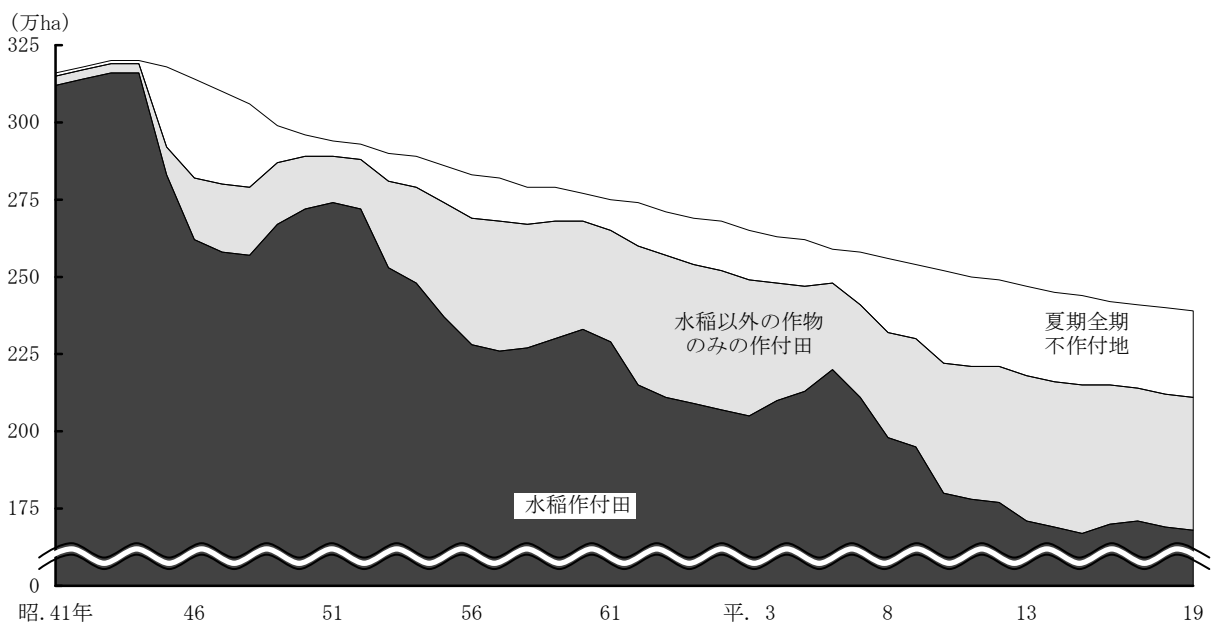
この結果、田本地に占める水稲作付田の割合は前年に比べて0.2ポイント低下して70.3%、水稲以外の作物のみの作付田の割合は前年に比べて0.1ポイント上昇して18.0%、夏期全期不作付地の割合は前年に比べて0.1ポイント上昇して11.7%となった。（表13）

表13 平成19年夏期における田本地の利用状況

区 分	面 積	前年との比較		構成比
		対 差	対 比	
	ha	ha	%	%
田 本 地	2 386 000	△ 12 000	99	100.0
水 稲 作 付 田	1 678 000	△ 13 000	99	70.3
水稲以外の作物のみの作付田	428 600	500	100	18.0
夏期全期不作付地	279 800	1 000	100	11.7

(2) 夏期における田本地の利用状況の動向をみると、昭和45年に米の生産調整が実施されて以降、米の生産調整面積の変動による増減はあるものの、水稲作付田は減少傾向で推移し、水稲以外の作物のみの作付田及び夏期全期不作付地については増加傾向で推移している。（図20）

図20 夏期における田本地の利用状況の推移



2 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

(1) 農作物作付(栽培)延べ面積

ア 田畑計

平成19年農作物作付(栽培)延べ面積は430万6,000haで、前年に比べて4万ha(1%)減少した。(表14)

これは、雑穀の作付面積が増加したものの、水稻、麦類、飼肥料作物等の作付(栽培)面積が減少したためである。

作付(栽培)延べ面積の動向をみると、昭和40年代は麦類を中心とした水田裏作の減少や、45年から始まった米の生産調整による不作付地の急増により田を中心に大幅に減少を続けてきたものの、49年以降は麦類の生産振興による作付回復等からほぼ横ばいで推移した。60年以降は生産者の労働力事情等により麦類及び豆類等も減少し、平成10年からは米の生産調整の一環で麦類、豆類の作付けは増加したものの、総体的には減少傾向で推移している。(図21)

イ 田

田の作付(栽培)延べ面積は233万haで、前年に比べて2万4,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、雑穀等の作付面積が増加したものの、水稻、飼肥料作物、麦類等の作付(栽培)面積が減少したためである。

表14 平成19年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

単位: ha

区 分	田 畑 計				田			畑		
	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		耕 地 利用率	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		作付(栽培) 延べ面積	前年との比較	
		対差	対比			対差	対比		対差	対比
			%	%			%			%
作付(栽培)延べ面積	4 306 000	△ 40 000	99	92.6	2 330 000	△ 24 000	99	1 976 000	△ 16 000	99
稲	1 673 000	△ 15 000	99	36.0	1 669 000	△ 15 000	99	3 840	△ 470	89
麦 類	264 200	△ 8 200	97	5.7	163 000	△ 4 500	97	101 200	△ 3 700	96
かんしょ	40 700	△ 100	100	0.9	3 120	20	101	37 600	△ 100	100
雑 穀	47 400	1 300	103	1.0	31 200	900	103	16 200	400	103
豆 類	191 300	△ 3 200	98	4.1	125 800	100	100	65 400	△ 3 400	95
野 菜	555 400	△ 2 400	100	11.9	147 300	△ 600	100	408 100	△ 1 800	100
果 樹	258 400	△ 3 400	99	5.6	-	-	-	258 400	△ 3 400	99
工芸農作物	174 000	△ 2 300	99	3.7	8 950	△ 310	97	165 100	△ 2 000	99
飼肥料作物	1 012 000	△ 6 000	99	21.8	154 000	△ 5 200	97	857 700	△ 700	100
その他作物	89 400	△ 900	99	1.9	27 200	△ 100	100	62 200	△ 900	99
耕地面積	4 650 000	△ 21 000	100	-	2 530 000	△ 13 000	99	2 120 000	△ 8 000	100
本地面積	4 460 000	△ 19 000	100	-	2 386 000	△ 12 000	99	2 073 000	△ 8 000	100
耕地利用率	92.6%	△0.4㊦	-	-	92.1%	△0.5㊦	-	93.2%	△0.4㊦	-
本地利用率(参考)	96.5%	△0.5㊦	-	-	97.7%	△0.5㊦	-	95.3%	△0.4㊦	-

注：耕地利用率及び本地利用率は、耕地面積又は本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合である。

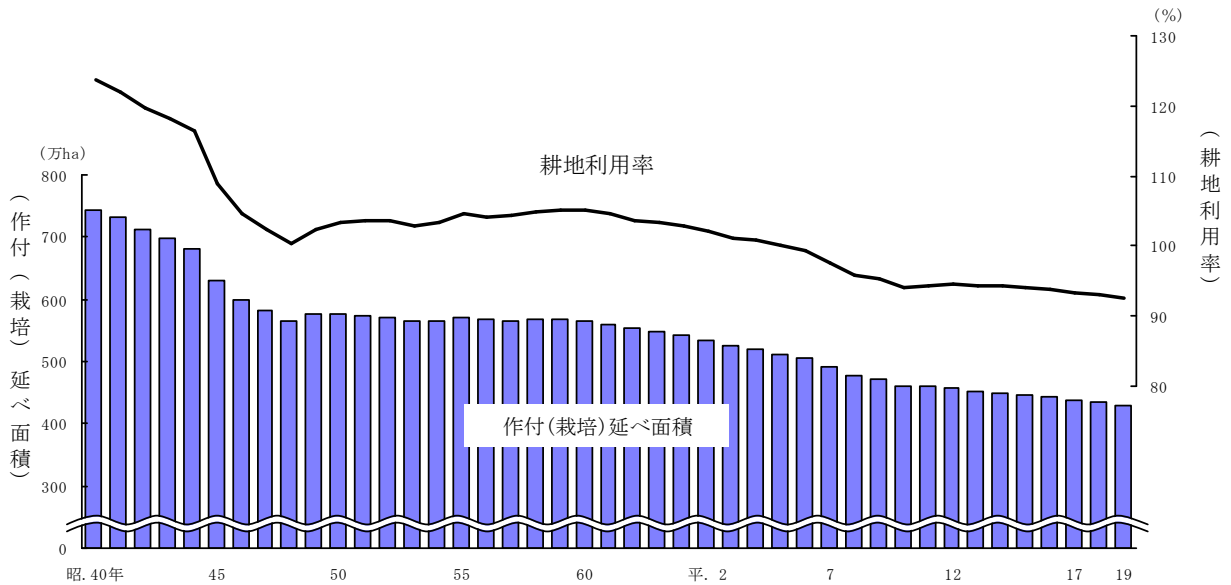
$$\text{耕地(本地)利用率(\%)} = \frac{\text{作付(栽培)延べ面積}}{\text{耕地(本地)面積(7月15日現在)}} \times 100$$

ウ 畑

畑の作付(栽培)延べ面積は197万6,000haで、前年に比べて1万6,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、麦類、豆類、果樹等の作付(栽培)面積が減少したためである。

図21 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率の推移



(2) 耕地利用率

ア 田畑計

平成19年耕地利用率は92.6%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。(表15)

なお、本地利用率(本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合)は96.5%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

耕地利用率の動向をみると、昭和41年には121.9%であったが、42年以降低下傾向で推移し、平成6年には100%を下回った。平成11年に昭和59年以来15年ぶりに上昇した以降は、ほぼ横ばい傾向で推移していたが、近年は減少傾向で推移している。(図21)

イ 田

田の耕地利用率は92.1%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、北陸で上昇したものの、それ以外の地域では低下した。

なお、九州では、水稻や豆類の裏作として麦類等の作付けを行う年二作体系の耕地が多いこと、沖縄では水稻の二期作が行われていること等から、それぞれ100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は97.7%で、前年に比べて0.5ポイント低下した。

ウ 畑

畑の耕地利用率は93.2%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、九州及び沖縄で上昇したものの、それ以外の地域では低下した。

なお、北海道では、主に麦類の後作として飼肥料作物のすき込みを行う輪作があること等から、100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は95.3%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。

表15 平成19年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	田 畑 計			田			畑		
	作付(栽培)	耕地利用率		作付(栽培)	耕地利用率		作付(栽培)	耕地利用率	
	延べ面積	本 年	対前年差	延べ面積	本 年	対前年差	延べ面積	本 年	対前年差
	ha	%	ポ イ ン ト	ha	%	ポ イ ン ト	ha	%	ポ イ ン ト
全 国	4 306 000	92.6	△ 0.4	2 330 000	92.1	△ 0.5	1 976 000	93.2	△ 0.4
北 海 道	1 158 000	99.6	△ 0.3	211 300	93.5	△ 0.6	947 000	101.1	△ 0.2
都 府 県	3 147 000	90.2	△ 0.5	2 119 000	92.0	△ 0.4	1 029 000	87.0	△ 0.5
東 北	760 300	86.6	△ 0.3	552 800	88.2	△ 0.2	207 500	82.7	△ 0.7
北 陸	283 600	88.3	0.0	254 500	88.3	0.2	29 100	87.7	△ 1.5
関東・東山	689 800	90.3	△ 0.7	398 300	94.3	△ 0.5	291 400	85.4	△ 0.9
東 海	249 400	90.0	△ 0.2	149 500	91.4	△ 0.2	99 800	87.9	△ 0.5
近 畿	207 500	87.3	△ 0.3	161 300	87.5	△ 0.1	46 200	86.7	△ 0.4
中 国	203 700	79.8	△ 0.8	154 100	78.7	△ 0.7	49 600	83.2	△ 1.2
四 国	134 900	90.7	△ 1.4	86 800	92.0	△ 1.8	48 100	88.3	△ 0.9
九 州	582 600	102.8	△ 0.7	360 100	109.8	△ 1.4	222 500	93.3	0.3
沖 縄	35 600	91.0	0.9	1 090	124.0	△ 4.1	34 500	90.3	1.5